

## 地域密着型金融推進計画の進捗状況

### 1. 平成17・18年度（17年4月～19年3月）の全体的な進捗状況

#### （1）事業再生・中小企業金融の円滑化について

- ① 農林漁業金融公庫と業務提携を行うとともに、アグリビジネスローンの発売を開始いたしました。
- ② 東海地区信協で主催いたしました「ビジネスフェア2005」、「ビジネスフェア2006」に当金庫のお取引先が参加しました。来年度も開催予定であり、また、北陸地区との広域連携について検討中であります。
- ③ 債権健全化に向けた取組みについては、平成17年度は当初予定した対象先を90先から155先に設定し、ランクアップ目標先は20先に対し29先のランクアップを達成することができました。平成18年度は、ランクアップ目標先25先に対し30先のランクアップを図ることができました。
- ④ 中小企業診断士を養成する取組みを開始し、平成18年度の第一次試験に3名合格いたしました。現在、中小企業診断士登録養成課程への派遣を行っており、また、平成19年度一次試験合格に向け4名が取組みを行っています。
- ⑤ 新規事業の創出や共同研究による事業開拓に取組まれるお取引先企業の支援を目的に、名古屋大学、名古屋工業大学と地区協会を通じて産学連携の協定を締結しました。また、4月には飛騨地区では初となる岐阜大学と協定締結をいたします。
- ⑥ 地域を支える中小企業への情報提供を目的に、行政と連携し「中小企業ITセミナー」を開催いたしました。

#### （2）経営力の強化について

- ① 平成17年度は、要注意債権等の債権健全化への取組み強化、また債券市場の好調に支えられ業務純益、当期利益とも計画を大幅に上回り増収増益となりました。不良債権比率に関しましても目標値7.90%に対し7.65%と大幅に下回ることができました。平成18年度も引き続き取組み強化を図った結果、不良債権比率は目標値7.50%に対し7.46%と下回ることができました。
- ② 適切なお客さま情報の管理強化の観点からISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得いたしました。今後は、ISO

規格への対応を図り完全移行を目指すとともに、情報セキュリティについて適切な取組みを徹底していきます。

- ③ 各種リスクおよびコンプライアンス管理態勢の充実・強化を図るため、本部機構を変更し対応しています。平成19年3月末から適用されるバーゼルⅡ(新BIS規制)に関しても積極的に取組み、自己資本比率算出の精緻化を図っていきます。(バーゼルⅡ・・・用語解説ご参照)

### (3) 地域の利用者の利便性向上について

- ① ディスクロ誌、ホームページを利用して地域の皆様に情報の発信を行いました。
- ② 毎週日曜日に「たかしんプラザ桐生」を開設し、休日にゆっくりご相談いただける各種相談受付サービスを開始いたしました。
- ③ 地元地銀2行とATM相互利用手数料無料化の締結を行い、お客様利便性の向上を図りました。
- ④ 地域のお客様の声を広くお聞きし、経営方針に反映させていただくためにアンケートを実施いたしました。  
ご要望にお応えするため、ATM機の増設、ATMコーナーの新設等実施いたしました。  
また、個人インターネットバンキングの基本手数料の引下げを実施しました。
- ⑤ たかしんCSRを制定しCSRに対する取組強化を図りました。(CSR・・・用語解説ご参照)
- ⑥ 地域再生推進のための各種施策との連携を図るために、「岐阜県子育て家庭応援キャンペーン」「子ども110番の車事業」に参加しました。
- ⑦ 当庫の創立80周年を迎えたのに伴い、金融からみた地域の変遷、歴史を網羅し教育にも利用できることを目的とした記念誌の発刊を行い、地域への情報発信を行いました。
- ⑧ 関連団体、行政と連携し、地域活性化のための地域診断の実施を決定し、取組みを始めました。

## 2. 地域密着型金融推進計画に基づく個別の取組み

	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況 17年4月～19年3月
		17年度	18年度	
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化				
(1) 創業・新事業支援機能等の強化				
	<p>融資審査体制強化のため、業界主催の融資研修には積極的に参加し、審査能力「目利き力」の強化により知識の向上を図っております。また、日本政策投資銀行、国民生活金融公庫、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫との情報共有・連携については、今後も継続し、協調融資等積極的に取り組めます。</p> <p>創業、新事業に対しては、中小企業活性化ローンで対応強化してまいりました。さらに、地域におけるベンチャー企業の育成ならびに中小企業の技術開発および新事業の進展を支援するため、融資審査能力の向上、起業・事業の情報提供、創業・新事業の成長に応じた適切な支援など、創業・新事業支援機能等の強化に向けた取組みを行います。</p> <p>産学官との連携に対しても、地区協会を通じて名古屋大学、名古屋工業大学と協定を締結し、岐阜大学との協定も締結予定であります。今後は、お取引先企業の支援に役立てるよう、情報収集を行い積極的な取組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリックス㈱との提携事業資金の取扱い開始</li> <li>・アグリビジネスへの取組み開始（農林漁業金融公庫との業務提携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府系金融機関との連携</li> <li>・農林漁業金融公庫との業務提携・アグリビジネスローンの発売</li> <li>・ビジネスフェアへの出展</li> <li>・目利き研修の実施（庫内・業界団体）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府系金融機関との連携</li> <li>・農林漁業金融公庫との業務提携・アグリビジネスローンの発売</li> <li>・目利き研修の実施（庫内・業界団体）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・新事業支援のための融資商品の開発、取扱いを始めました。</li> <li>・農林漁業金融公庫や中小企業基盤整備機構と業務提携契約を行い、創業・新事業支援のための取組み強化を行いました。</li> <li>・東海地区「ビジネスフェア2005」において当金庫お取引先が「産学連携ビジネス大賞」の優秀賞を受賞されました。</li> <li>18年度も「ビジネスフェア2006」に参加するとともに、来年度の開催や北陸地区との広域連携について取組んでいます。</li> </ul>

(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化				
<p>○中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化について</p> <p>経済クラブ等の開催で経済クラブ会員間のコミュニケーションは図れています。また、東海地区信用金庫協会主催の「ビジネスフェア」への参加を手始めに、当金庫の経済クラブ等でもビジネスマッチングを目的とした商談会や企業展に積極的な取り組みを行い、地場産業の活性化に繋げてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年11月24日東海地区信用金庫協会主催「2005ビジネスフェア」</li> <li>・平成18年11月8日東海地区信用金庫協会主催「2006ビジネスフェア」</li> </ul> <p>○中小企業支援スキルの向上を目的とした取り組み強化について</p> <p>「中小企業経営支援室（室長は中小企業診断士）」を中心に、支援スキルの向上あるいは拡充のため、庫内での実践的研修の定期的開催、支店等と連携してお客さまからの経営相談・コンサルティングニーズへの対応等の強化を図ります。</p> <p>○要注意先債権等の健全債権化等に向けた取り組みの強化について</p> <p>要注意先、要管理先、破綻懸念先、正常先等を対象として、ランクアップ可能性先、ランクダウンの恐れがある先、多様な再生手法が必要な先、その他に債務者を分け、それぞれの企業に適切な対応が出来る体制の整備を図っており</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景況調査</li> <li>・経済クラブへの取り組み</li> <li>・ビジネスフェアへの出展</li> <li>・庫内研修・経営相談</li> </ul> <p>・中小企業支援室を中心として「経営改善計画書」等作成を行いそれぞれの企業に適切な対応を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランクアップ目標 平成17年度 20先 平成18年度 25先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景況調査</li> <li>・経済クラブへの取り組み</li> <li>・ビジネスフェアへの出展</li> <li>・庫内研修・経営相談</li> </ul> <p>・中小企業支援室を中心として「経営改善計画書」等作成を行いそれぞれの企業に適切な対応を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランクアップ目標 平成17年度 20先 平成18年度 25先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済クラブの講演会を開催し異業種の交流を図りました。</li> <li>・景況調査を実施し調査結果の公表を行いました。</li> <li>・ビジネスフェアへの参加により数社の商談が成立、進行中です。今後も開催に向け努力してまいります。</li> <li>・たかしん簡易市場調査サービスを始めました。（簡易市場調査サービス・用語解説ご参照）</li> <li>・「中小企業ITセミナー」を開催しました。</li> </ul> <p>・庫内研修や中小企業経営支援室が（支店と共同で）直接に企業を訪問するといった形での経営相談を数回にわたり行いました。また、中小企業診断士養成に向けて本格的な取り組みを開始いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランクアップ活動については、平成17年度のランクアップ目標20先に対し29先のランクアップ、平成18年度のランクアップ目標25先に対し30先のランクアップを行うことができました。</li> <li>・「経営改善計画書の作成」について、</li> </ul>	

	<p>ます。</p> <p>ランクアップに関しては、今後も積極的な取組をしていきます。なお、ランクダウン阻止、あるいは未然防止も、取り組みの大きな柱となっています。</p>			<p>主要な債務者区分先については既に作成済み等もあり新規の作成依頼等は限定的でありましたが、経営改善計画書の見直し等は増えています。</p> <p>・債務者区分先で相対的に融資規模の大きい企業について、支店担当者と支援室相談員が共同で現状分析・改善策等を検討する場、機会を設け、これまで18回(実施対象企業36先)が対象となりました。</p>
(3) 事業再生に向けた取組み				
	<p>○事業再生に向けた積極的取組について</p> <p>事業再生については、岐阜県中小企業再生協議会の活用等により取組んでおり、今後も「中小企業経営支援室」を中心として体制の強化を進めます。</p> <p>なお、取組みには専門性が必要とされることから、外部研修への派遣、庫内での研修会等を通じて人材の育成を図ります。</p> <p>○再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の推進について</p> <p>当金庫の再生支援実績を積極的に公表し、再生ノウハウについてもデータの蓄積を行い、積極的に開示を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DDS、再生ファンド、M&amp;A等について研修を行い人材の育成を図る</li> <li>・情報収集、ノウハウの蓄積、公表</li> <li>・信金中金主催「シンジケートローン」勉強会への出席</li> <li>・研修の実施(DDS、再生ファンド、M&amp;A、シンジケートローン・・・用語解説ご参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DDS、再生ファンド、M&amp;A等について研修を行い人材の育成を図る</li> <li>・情報収集、ノウハウの蓄積、公表</li> <li>・信金中金主催「シンジケートローン」勉強会への出席</li> <li>・研修の実施(DDS、再生ファンド、M&amp;A、シンジケートローン・・・用語解説ご参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修・外部機関等との連携強化については、「多様な事業再生手法の一層の活用」が大きな課題であり、</li> <li>①「M&amp;A」については外部機関のセミナーに参加、また、信金キャピタル等の連携を図るとともに規定の改正等により具体的取組み体制の整備を図りました。</li> <li>②「DDS」については、支援室内での取組み方法の検討、外部機関との情報交換等を行いました。上記①については具体的な案件として2件の支援実績となりました。</li> <li>③「再生支援協議会」案件としては一件が進行中ですが、改善計画書の見直し(修正)が行われ、引き続き取り組み中です。</li> </ul>

				<p>④「岐阜再生ファンド」については、岐阜県保証協会の主催する「企業再生担当者連絡会」が開催され、今後も新たなファンド組成について検討予定であります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PFIやシンジケートローンに関しては引き続き各種勉強会に参加し手法の検討を行いました。</li> </ul>
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等				
<p>①担保・保証に過度に依存しない融資の推進について</p> <p>中小企業金融の円滑化のため、不動産担保・保証に過度に依存しない融資の促進を図っていきます。また、民法改正の施行を踏まえ、既存の包括根保証契約について、制度改正の趣旨を踏まえた適切な見直しを行うとともに、第三者保証の利用については、過度なものとならないようにいたします。</p> <p>②中小企業の資金調達手法の多様化等について</p> <p>資金調達手法の多様化等に対応した商品を開発し、中小企業金融の円滑化に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活性化支援ローン、ビジネスパートナーズローン等の推進</li> <li>・SDB信用格付システムへの取組み、SSC信用格付対象先数増加</li> <li>・TKCとの勉強会、岐阜無担保スピード資金の取扱い・推進、売掛債権担保融資制度への取組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活性化支援ローン、ビジネスパートナーズローン等の推進</li> <li>・SDB信用格付システムへの取組み、SSC信用格付対象先数増加</li> <li>・TKCとの勉強会、岐阜無担保スピード資金の取扱い・推進、売掛債権担保融資制度への取組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務分析を案件ごとに精査し、相違点を営業店にフィードバックし企業財務分析の精度向上を図りました。</li> <li>・キャッシュフローを重視した無担保・無保証人の商品の積極的販売を図りました。</li> <li>・SSC信用格付に551件の登録を行いました(19.3末現在)。</li> </ul>	
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化				
<p>お客さまからの相談・苦情等については、お客さまの言われることをよくお聴きし、お客さまがどんな思いで何を主張されたいのかを正確に察知し、金庫への心からの助言であると感じ慎重な対応と再発防止に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの制定、研修の実施</li> <li>・事例に基づいての研修の実施、再発防止に向けての取組み強化、地域金融円滑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの見直し</li> <li>・事例に基づいての研修の実施、再発防止に向けての取組み強化、地域金融円滑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情、ご相談の実例を各営業店にフィードバックし、それに従い各営業店で研修を実施しています。また、コンプライアンス関連委員会でも各事例に対して研修を実施し、相談苦</li> </ul>	

	<p>そのために、苦情等の分析を行い、職員の事務能力、知識不足から発生する苦情等、未然に防げる初歩的なトラブル回避のための事務能力向上の研修を行います。</p> <p>融資取引に関するお客さまへの説明態勢については、今年度当初に規定の整備を行い、研修会の開催等により周知を行ってきました。今後も引き続き知識の向上を図り、お客さまに対して十分な説明を行います。</p>	<p>化会議へ出席し、情報の共有化を図り機能強化に努めてまいります。</p>	<p>化会議へ出席、情報の共有化を図り機能強化に努めてまいります。</p>	<p>情処理機能の強化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域金融円滑化会議へ出席いたしました。</li> <li>・18年度6月、顧客への説明態勢の整備および相談苦情処理機能の強化を図るため、総務部内に「コンプライアンス課」を設置しました。</li> <li>・適正な表示広告、利用者保護ルールの徹底を図るため、「パンフレット・ポスター等掲出規程」を制定しました。</li> </ul>
(6) 人材の育成				
	<p>過去2年間に於ける「目利き」能力・経営支援の能力向上のための人材育成および事業再生・中小企業金融の円滑化に向けた人材育成については、業界主催の関連する研修に積極的に派遣し、能力向上を図ってきました。</p> <p>今後も、業界主催の研修に担当職員を計画的かつ積極的に派遣し能力のさらなる向上を図ります。また、中小企業診断士および担当部を講師に、自金庫内にて階層別研修も実施していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界主催の研修会への参加、庫内研修の実施、検定試験受験の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界主催の研修会への参加、庫内研修の実施、検定試験受験の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会へ積極的に人材を派遣し、育成を図りました。また、中小企業診断士養成に向けて本格的な取組みを開始いたしました。</li> <li>18年度8月に実施された中小企業診断士第一次試験に3名合格し、現在、中小企業診断士登録養成課程への派遣を行っており、また、平成19年度一次試験合格に向け4名が取組みを行っております。</li> </ul>
2. 経営力の強化				
(1) リスク管理態勢の充実				
	<p>○リスク管理の高度化について</p> <p>証券会社による毎月のポートフォリオ分析の活用のほか、信金中央金庫によるポートフォリオ分析も受け、健全性確保、収益性の向上を図っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク管理規定の見直し</li> <li>・ディスクロ内容の検討、ディスクロ誌の発行、ホームページ開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクウエイト別項目算出表の作成</li> <li>・左記の充実、見直し</li> <li>・ディスクロ誌の発行、ホームページ開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合リスク管理規定の見直しを行い、各種リスクに対する態勢強化のための再構築を行いました。</li> <li>・更なるリスク管理態勢の充実を図るために、総合企画部内に「総合リス</li> </ul>

	<p>○情報開示の拡充に係る適切な態勢整備について 内容に関しては専門用語をできるだけ排除する等、利用者であるお客様に、ご理解いただきやすい具体的なことばで、表現できるよう心掛けていきます。</p>			<p>ク管理課」を設置するとともに、ALM委員会規程および委員の改訂を実施しました。また、新BIS規制（パーゼルⅡ）への適切な対応を図るため委員会を設置しました。 (ALM・・・用語解説ご参照) ・ディスクロ誌やホームページで当金庫のリスク管理態勢を公表いたしました。</p>
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上				
	<p>地域密着型金融の実施において、適正な対価負担を求めつつ、付加価値の高い金融サービスを提供するビジネスモデルを推進するとともに、地域において必要なリスクをとりつつ、それに見合った金利設定を行っていくための体制整備など、収益管理態勢の整備と収益力の向上に向けた取組みを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業財務分析登録の精度向上、SDB信用格付システム勉強会の実施</li> <li>・金利の適正化に向けた取組み・個人国債、生命保険等窓口販売の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業財務分析登録の精度向上、SDB信用格付システム勉強会の実施</li> <li>・金利の適正化に向けた取組み・個人国債、生命保険等窓口販売の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出金利適用基準の見直しを行いました。</li> <li>・SSC信用格付けの精査向上のためデータの inputs を積極的に行いました。</li> <li>・役員収益の拡大を目指し生保窓口販売の促進を行いました。</li> <li>・全店で、投資信託の窓口販売の取扱いを開始しました。</li> <li>・自己査定先である個人事業主のSDB財務登録を完了しました。その他の個人先についても積極的に対応していきます。</li> </ul>
(3) ガバナンスの強化				
	<p>総代会の仕組み・総代の役割・総代選考基準や選考方法等、ディスクロージャー誌に引き続き掲載していくとともに、その掲載項目について検討を実施していきます。総代の定年制や重任制限等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総代選考基準、選考方法の透明化、アンケートの実施</li> <li>・ディスクロ誌・ホームページ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総代選考基準、選考方法の透明化、アンケートの実施</li> <li>・ディスクロ誌・ホームページ</li> </ul>	<p>・ディスクロージャー誌にアンケートを掲載いたしました。 返信されたご意見に対しましては、真摯に取組み、今後の業務活動に活</p>



	<p>については、会員や総代のご意見を踏まえて検討していきます。</p> <p>地域貢献についての情報開示、地域経済の活性化に資する取組み等各施策については、計数偏重の表現方法になる事なくお客さまからの信頼を得るべく、業界団体から示された開示方針を踏まえ内容の見直し、充実を図ります。</p>	<p>ージでの情報の開示、開示内容の充実</p>	<p>ージでの情報の開示、開示内容の充実</p>	<p>かしてまいります。</p>
<p>(4) 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化</p>				
	<p>○営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等について</p> <p>法令等遵守態勢は、コンプライアンス対策委員会およびコンプライアンス担当者を中心に、会議や研修を実施し、金庫役職員に求められる職業倫理の徹底を図っています。今後も、各店舗のコンプライアンス活動等を通じて、情報の交換や伝達を積極的に行い、事故防止に努めます。</p> <p>○適切な顧客情報の管理・取扱いの確保について</p> <p>個人情報の適切な保護と利用を図るため、個人情報の保護に関する法律およびガイドライン、その他関係法令等を遵守するとともに、その継続的な改善に努めます。</p> <p>また、コンピュータウィルスなどのサイバーテロへの対策、盗難、不正行為等のリスクの低減を図るうえからもISMS認証の取得をすすめていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスプログラム徹底のための研修会の開催、委員会の開催、マニュアルの改訂</li> <li>・マニュアルの整備、研修、プライバシーポリシーの発出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスプログラム徹底のための研修会の開催、委員会の開催、マニュアルの改訂</li> <li>・情報セキュリティーポリシー認証取得</li> <li>・研修会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会や担当者部会の開催を行いコンプライアンスプログラムの徹底をいたしました。</li> <li>・監査部によるコンプライアンスプログラムの検証の実施を行いました。</li> <li>・18年度6月、コンプライアンス態勢の強化を図るため、総務部内に「コンプライアンス課」を設置しました。</li> <li>・個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）の発出をしました。</li> <li>・個人情報管理態勢に係る一斉点検の実施をいたしました。</li> <li>・全信用金庫で初となる情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得いたしました。</li> <li>ISMSがISO化されるのに伴い、19年2月に移行審査を受けました。</li> </ul>

(5) ITの戦略的活用				
	<p>事務効率化を図るため、各種書類のイメージ処理を推進するとともに、地域の信頼に応えるためにシステムリスクの極小化を図ってまいります。</p> <p>リスク管理の高度化については、ITの活用が効果的と考えており、今後も業界団体が提供している機能と連携して対応していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人確認管理システムの導入</li> <li>・地図情報システムの導入および営業店への展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業店支援の充実</li> <li>・地図情報システムの導入および営業店への展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人確認書類、個人情報利用目的の同意書管理システムを構築し運用を開始いたしました。</li> <li>・地図情報システムを構築し運用を開始いたしました。</li> <li>・18年度上期に情報系システムの更改を実施し、セキュリティの強化を図りました。</li> <li>・ICカードおよび生体認証システム導入に向けた取組みを開始しました。</li> </ul>
(6) 協同組織中央機関への機能強化				
	<p>有価証券による資金運用の比重が一層高まっていくことが予想されることから、信金中央金庫によるALM支援、ポートフォリオ分析等を通じてリスク管理のさらなる向上を図ってまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金中金によるALM支援、ポートフォリオ分析等を通じてリスク管理の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金中金によるALM支援、ポートフォリオ分析等を通じてリスク管理の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期間限定特別定期預金および積立定期預金の預入を行いました。</li> </ul>
3. 地域の利用者の利便性向上				
(1) 地域貢献等に関する情報開示について				
	<p>地域貢献活動の取組みについては、その方策を見直すとともに、今後も積極的に取り組んでいきます。また、業界団体から示された開示方針を踏まえ、その活動状況についての情報開示充実について取組みます。</p> <p>ホームページについても、全面的な見直しを行い高齢者・障害者の方々に配慮したサイトに再構築をいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロ誌、ホームページでの情報開示、内容の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロ誌、ホームページでの情報開示、内容の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャー誌やホームページで当金庫の地域貢献活動に対する取組みの開示を行いました。</li> <li>また、広報担当者が地元のFM局へ出演、金庫のホームページについての説明を行い、情報提供の充実を図りました。</li> </ul>

(3) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立について				
	<p>利用者のニーズがますます多様化してくることも予想され、アンケート等の手法も用い利用者満足度の向上に資する態勢を構築いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート内容の検討</li> <li>・アンケートの実施</li> <li>・アンケート結果による改善の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの実施</li> <li>・アンケート結果による改善の実施</li> <li>・アンケート結果による改善の実施</li> <li>・アンケート結果による改善の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロ誌、営業店窓口で「お客様満足度アンケート」を実施しお客様のご意見等をいただきました。その結果に対しては、各営業店にフィードバックしそれぞれで研修を行いました。また営業店設備等に対するご指摘に関して取り入れることが可能な事項に関しては、予算に計上し反映をいたします（お客様からの要望によりATM機の増設・ATMコーナーの新設、個人インターネットバンキングの基本手数料引き下げ等実施しました）。また、アンケートに対するお客様への回答につきましては金庫ホームページに掲載いたしました。</li> </ul>
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等について				
	<p>地域におけるPFI事業については、研修会への参加や、行政との情報交換を行いながら前向きな取り組みを行います。</p> <p>また、過去3回にわたって行ってきた日本政策投資銀行との「地域活性化セミナー」についても今後も開催し、地域活性化に向けた取り組みを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域再生推進に向けた各種施策との連携、地域活性化に向けた取り組みへの積極的な推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域再生推進に向けた各種施策との連携、地域活性化に向けた取り組みへの積極的な推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たかしんCSRを制定しCSRに対する取組強化を図りました。</li> <li>・地元地銀とATM相互利用手数料無料化の業務提携を締結し、お取引先へのサービス拡大を行いました。</li> <li>・毎週日曜日に「たかしんプラザ」を開設し、各種相談受付サービスを開始いたしました。</li> <li>・金庫主催の「学童野球大会」を開催し、地域の方々との交流を図ることができました。</li> </ul>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域再生推進のための各種施策との連携を図るために、「岐阜県子育て家庭応援キャンペーン」「子ども110番の車事業」に参加しました。</li> <li>・当金庫、関連団体、行政と連携し、地域活性化のための地域診断の実施を決定し、取組みを始めました。</li> </ul>
4. 進捗状況の公表				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャー誌の発行</li> <li>・金庫ホームページでの開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャー誌の発行</li> <li>・金庫ホームページでの開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャー誌の発行</li> <li>・金庫ホームページでの開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型金融推進計画をホームページにて開示いたしました。</li> <li>・営業店店頭においても、お客さまからの申出に応じるべく前記冊子を配付いたしました。</li> </ul>

#### <用語解説>

バーゼルⅡ：近年の金融業の複雑化・高度化やリスク管理技術の進歩により、現行のB I S規制では画一性から来る弊害が見受けられ、内部管理手法との整合性が問われるようになったため、規制対象リスクをオペレーショナルリスク等に拡大し、金融機関内部のリスク管理手法をできる限り活用する方向で規制の精緻化を図る体系に組み込み、新しい自己資本比率規制として制定された新規制。

C S R：企業の社会的責任。

簡易市場調査サービス：医院、クリニック等の開業予定地の診察圏における予測患者数、予測売上高などを掲載したレポートをパソコンで簡易作成し、有料で提供するサービス。

DDS：普通の借入金を返済順位の低い借入金（劣後ローンという）に借り替えることをさす、ひとつの手法。

M&A：M&A（エム・アンド・エー）は、**Merger and Acquisition**の略語、**Merger**は「合併」、**Acquisition**は「買収」という意味。

シンジケートローン：複数の金融機関が協調して融資団を組成して行なう貸付。

P F I：公共事業に民間の資本やノウハウを取り入れ、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る手法。

A L M：**Asset Liability Management**（資産・負債の総合管理）の略称。

ポートフォリオ：投資家が保有する有価証券を一体として見る時、それをポートフォリオという。個々の投資家が保有している金融資産の集合体のことを指す。

## 計 数 計 画 進 捗 状 況

### 【基本業績目標】

	平成17年度実績値	平成18年度目標 (19年3月末)	平成18年度実績値 (19年3月末)
業 務 純 益	1, 2 2 3 百万円	1, 0 7 0 百万円以上	1, 7 7 9 百万円
当 期 利 益	4 6 4 百万円	2 9 0 百万円以上	3 7 1 百万円
自 己 資 本 比 率	1 1 . 3 3 %	1 1 . 6 5 %以上	1 1 . 4 9 %
預 貸 率 (平 残)	5 7 . 6 0 %	5 8 . 2 5 %以上	5 7 . 6 8 %
不 良 債 権 比 率	7 . 6 5 %	7 . 5 0 %以下	7 . 4 6 %
会 員 数	1 7 , 6 7 0 人	1 7 , 8 5 0 人以上	1 7 , 9 0 5 人

※ 平成19年3月末実績値を公表します。

業務純益、当期利益に関しては目標を大幅に上回ることができ順調に推移いたしました。自己資本比率、預貸率に関しては目標を達成することができませんでしたが、概ね順調に推移していると思われます。特に預貸率につきましては、地公体の指定金融機関の関係で公金預金が大幅に増加したことが目標未達の要因でもあります。上記目標の中で当金庫が一番重要視していました不良債権比率に関しては、企業再生支援等への取組みを強化した結果、目標を達成することができました。

以 上

(高山信用金庫)